

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|-------|--|--------------------------|----------------------|---|-----------------|----|
| 214 | B-05025583 | 男性 | 14歳 | 150mg | アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン シャゼンソウエキス | 異常行動 | 軽快 | A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(38.5℃)。午前中1回目服用後寝ていたが突然異常行動(階段を駆け下り、学校へ行くといいいカバンを背負って外へ飛び出そうとする)発現し、しばらくの後症状軽快。その後も本剤を処方通り服用するが異常行動発現せず。 | 異常-187 | |
| 215 | B-05025723 | 男性 | 14歳 | 150mg | | 健忘 激越 異常行動 錯乱状態 | 回復 回復 回復 回復 | A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。夜間本剤服用後、家の中を大声で動き回り、家族が抱きかかえた。興奮、錯乱状態発現。2時間毎に興奮状態が出現。その後寝入って落ち着き興奮、錯乱状態、健忘症回復。翌日解熱し本剤中止。(約1ヶ月前インフルエンザが強く疑われたためアマンタジン投与。その際は高熱(39.1℃)だったが、興奮状態等の訴えはなかった。) | 異常-188 | |
| 216 | B-06024434 | 女性 | 14歳 | 75 mg | イブプロフェン 非ピリン系感冒剤(4) アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン | 転倒 | 死亡 | 発熱(38.2℃)、咳、鼻水、喉の痛みあり、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを服用。服用から2時間後自宅マンションから転落し、心肺停止状態。病院に搬送後に死亡確認。 | 異常-189 死亡-14 | |
| 217 | B-06024795 | 男性 | 14歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 異常行動 転倒 | 死亡 死亡 | インフルエンザA型にて本剤を服用するが、異常行動発現なし。約1年後、発熱(38.9℃)、咽頭痛、インフルエンザB型陽性で本剤を処方。朝、夕服用し、その夜に自宅マンションから飛び降り死亡。 | 異常-190 死亡-15 | |
| 218 | B-06025006 | 男性 | 14歳 | 75 mg | フェンジゾ酸クロペラステン カルボシステイン | 異常行動 | 回復 | 発熱(39.6℃)あり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用3時間半後、異常行動(走り回ったり、階段の手すりに足をかけたりする等)が10分程出現。異常行動回復。 | 異常-191 | |
| 219 | B-06025685 | 男性 | 14歳 | 75mg | | 異常行動 | 回復 | 発熱(38.5℃)鼻症状であったため、確定診断後本剤を投与。その夜、異常行動(トイレに行こうと立ち上がったが倒れた。トイレに付き添っていくもトイレの中、壁に向かって排便し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れ込む)発現。母親、心配になり、救急依頼。体温(38.2℃)。入院後、補液管理となり(体温:38.8℃)、その日の夕刻、異常行動回復。 | 異常-192 | |
| 220 | B-06026126 | 男性 | 14歳 | 75mg | | 異常行動 意識消失 | 回復 回復 | インフルエンザB型と診断。投与開始3日目未明、突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2~3分間。その間けいれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。 | 異常-193 | |
| 221 | B-06026444 | 男性 | 14歳 | 75mg | プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン | 異常行動 | 回復 | リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気が付き、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。 | 異常-194 | |

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|--------------|----------|---|----------|-----------------|
| 222 | B-07000123 | 男性 | 14歳 | 75 mg | 塩酸アンブロキシール 臭化水素酸デキストロメトルファン | 異常行動 | 回復 | 来院時、体温：39.2℃。夕方、A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用30分後、異常行動発現。もうろうとして意識がクリア。「俺を殺す気か？」と言った。服用4時間後、2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。体温：39.0℃。「死ねと言うのか？」という言葉に母の呼びかけ「どうしたの」により意識が戻った。その後は普通。ご飯食べた。服用6時間後、2F寝室で就寝。服用8時間後、意識もうろう「何で、何で？」と言い泣いた。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お母さんがなんているの？」と言った。体温：37℃。服用開始2日目、朝、体温が下がって普通。 | 異常以外-186 | 2007/10/1以降追加報告 |
| 223 | B-07000153 | 男性 | 14歳 | 150 mg | エバستن プラノプロフェン 塩酸アンブロキシール | 異常行動 意識消失 | 回復 回復 | インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベッドで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2～3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのうめき声を発したが窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。 | 異常-195 | |
| 224 | B-07000156 | 女性 | 14歳 | 75 mg | | 異常行動 | 回復 | インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動（夜中急に走り出して倒れた）発現。 | 異常-196 | 2007/10/1以降追加報告 |
| 225 | B-07000162 | 女性 | 14歳 | 150 mg | | 異常行動 | 回復 | A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。夜、本剤内服後、就寝。夜中に突然起き上がり、声を出しながら（内容は不明）2階の窓より階下へ飛び降りた。直後に両親が庭で患児が腰を打撲して、座っている状態を確認。ボーッとしている状態であったが、話しかけには返事をしていただけのこと。翌日には意識は全く清明であった。 | 異常-197 | |
| 226 | B-07000206 | 男性 | 14歳 | 75 mg | L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシビド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸 | 異常行動 | 回復 | インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆきぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2～3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。 | 異常-198 | |
| 227 | B-07000215 | 男性 | 14歳 | 75mf | セフボドキシムプロキセチル 塩酸アゼラスチン 塩化リゾチーム | 異常行動 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、その後就寝。その2時間後突然覚醒し、二階へかけ上がる等の異常行動発現。 | 異常-199 | |
| 228 | B-07000218 | 男性 | 14歳 | 75mg | アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方入院するが、症状なく、入院3日後に退院。 | 異常-200 | |

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|----------------|----------|--|--------|-----------------|
| 229 | B-07000261 | 男性 | 14歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 幻聴 | 不明 | 咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありボーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、母親が外から呼んでいるというような幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。 | 異常-201 | |
| 230 | B-07000283 | 男性 | 14歳 | 75 mg | | 譫妄 意識レベルの低下 | 回復 回復 | 発熱39℃。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3時間後、せん妄、もうろう状態発現。トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。床の中で不穏動作(手をパタパタさせたり起き上がろうとしたり、物に話さう様な動作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかったとのこと。症状回復。本剤投与中止。翌朝、体温35.8℃に低下し、回復。 | 異常-202 | |
| 231 | B-07000284 | 男性 | 14歳 | 150 mg | ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン | 幻覚 | 回復 | インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動、幻覚発現。何か幻覚のようなものを見て、外に出ようとした。母親が止めようとしたが、止められず、父親が平手打ちをしたところ正気に戻った。翌日、熱も下がり、症状は回復。本剤は継続中。 | 異常-203 | |
| 232 | B-07000306 | 男性 | 14歳 | 75 mg | | 異常行動 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後も高熱(41度)が持続。服用10時間後、2階から階段を勢いよく下りてきて、玄関から飛び出し、田んぼの中を走り回り、国道に倒れていたのを通りかかりの車輦に発見される。その後、本剤服用中止。アセトアミノフェン服用し、解熱。異常行動回復。 | 異常-204 | |
| 233 | B-07002193 | 女性 | 14歳 | 75 mg | アセトアミノフェン 塩化リゾチーム カルボシステイン トラネキサム酸 | 異常行動 | 回復 | インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用2時間半後、壁に頭を打ちつけるのを家族が発見。本人は分かっていたが、頭を打ち続けることを止めることができず怖かったとのこと。1回内服のみで中止し、その後、異常行動を認めていない。 | 異常-205 | |
| 234 | B-07005083 | 男性 | 14歳 | 75 mg | ロキソプロフェンナトリウム デブレン 塩酸アンブロソール アセトアミノフェン | 異常行動 | 軽快 | 急性上気道炎、咽頭炎。37.8℃の熱発あるが、インフルエンザ陰性。1週間後、39.8℃の熱発。リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェン坐剤処方。約1時間半後、自宅にて睡眠時にうわごとあり。後、突如起き上がり、部屋を出ていこうとしたところ、家族が制止。落ち着いたが、急に何かにおびえだす。服用開始から2日目、症状は落ち着いていた様子。以後、副作用もなく転帰良好。 | 異常-206 | |
| 235 | B-07013254 | 男性 | 14歳 | 150 mg | 塩酸チアラミド デブレン d-マレイン酸クロルフェニラミン リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン ホスホマイシンナトリウム | 激越 幻覚 | 回復 回復 | リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、2階で寝ていたが、駆け降りてきて興奮気味に「何か変なものがある」と訴えた。母親とすぐに2階へのぼったが、しばらくして再び眠った。30分後、興奮・幻覚は回復。 | 異常-207 | 2007/10/1以降追加報告 |
| 236 | B-07013399 | 男性 | 14歳 | 不明 | | 異常行動 | 不明 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、ベッドの周りを走り回った。 | 異常-208 | |

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No. | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|-------|--|-------------------|----------|---|--------|-----------------|
| 237 | B-03010203 | 男性 | 15歳 | 150mg | | 妄想 | 未回復 | インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。同日夜、内服。翌日昼、解熱したが、異常な発言あり。その翌日、本剤の投与中止。その後言動のまとまりがなくなり、統合失調症の発症が疑われた。本剤投与中止12日目に、幻覚妄想が活発に認められ、入院。病院内を落ちつきなく徘徊。幻覚妄想は未回復。 | 異常-209 | |
| 238 | B-05001829 | 男性 | 15歳 | 75mg | アセトアミノフェン 鎮咳配合剤 カルボシステイン | 譫妄(せん妄) 痙攣(痙攣) | 後遺症 | 高熱あり、救急外来受診。A型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。その後、せん妄・痙攣発現。病院に救急搬送され、入院となる。その後急にベッドから立ち上がり、点滴ラインを引っ張った。翌日早朝、意識清明となり覚醒し、頭痛や麻痺・硬直等の症状緩和。翌日、解熱、異常行動なく全身状態改善のため退院となるが、後遺症あり。 | 異常-210 | |
| 239 | B-06024227 | 男性 | 15歳 | 150mg | レバミピド 塩酸セチリジン アセトアミノフェン 塩酸ホミノベン | 嗜眠 異常行動 | 回復 | A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mgx2回/日を投与。4日目にインフルエンザ軽快・回復。6日目の10回目投与後、学校で授業中突然歌を歌う。視線が定まらず早退。帰宅後も嗜眠傾向。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は興奮のため最後まで撮れないが、撮れた分は異常なし。15日目では異常行動、嗜眠傾向は未回復。21日目以降の時点で父母から見ても正常に戻ったと評価している。 | 異常-211 | |
| 240 | B-06024378 | 男性 | 15歳 | 150mg | 非βリニン系感冒剤(4) テリスロマイシン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チベピジン テブレノン | 異常行動 自殺企図 | 軽快 軽快 | インフルエンザと診断。体温39℃。リン酸オセルタミビル2回目服用後、3時間後に悪夢を見て暴れた。その6時間後、再度暴れ、包丁の刃を自分に向けていた。2時間後、自殺未遂及び異常行動は軽快。 | 異常-212 | |
| 241 | B-06026296 | 女性 | 15歳 | 150mg | 非βリニン系感冒剤(4) 塩酸セフカベンピボキシル ソファルコン 臭化水素酸デキストロメトラン クレゾールスルホン酸カリウム 鎮咳配合剤(1) カルボシステイン | 全身紅斑 | 回復 | キットにてB型インフルエンザ陽性にて、リン酸オセルタミビル処方。夜、本剤1回目服用。服用2日目、朝、夕服用後、四肢の紅斑が出現。紅斑発現2時間後、徘徊、両上肢、手指のケイレン出現。1時間で軽快。服用3日目、朝、前日夜出現した紅斑が急速に全身に拡大してきたため、再来院。他院皮膚科に紹介入院。 | 異常-213 | 2007/10/1以降追加報告 |
| 242 | B-07000065 | 女性 | 15歳 | 150mg | 臭化水素酸デキストロメトラン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | 発熱38℃、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。深夜、眠っていたが、突然起き上がり、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。異常行動回復。本剤服用中止。 | 異常-214 | |

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|--------------------|----------------|--|--------|-----------------|
| 243 | B-07000078 | 男性 | 15歳 | 150 mg | フマル酸エメダスチン カルボシステイン 塩酸エブラジノン | 異常行動 妄想 幻覚 | 回復 回復 回復 | B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用3時間30分後、徘徊、発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。服用2日目、朝、本剤服用1時間30分後、トイレで号泣しているのを家人が発見。「母が死んだ」「怖い人が来る」等の妄想、幻覚が出現。30分後には自然に回復。本剤服用中止。服用開始から3日目、熱が引かないため、セフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。 | 異常-215 | 2007/10/1以降追加報告 |
| 244 | B-07000108 | 女性 | 15歳 | 75 mg | 非ピリン系感冒剤(4) | 異常行動 | 回復 | インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後(1:30頃)、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあけて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。服用8時間後(3:30頃)、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。 | 異常-216 | |
| 245 | B-07000259 | 男性 | 15歳 | 75 mg | | 異常行動 | 回復 | B型インフルエンザと診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。 | 異常-217 | |
| 246 | B-07001356 | 男性 | 15歳 | 75 mg | アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3日目、服用後に患者が異常に本剤を欲しがり、母親の首を絞めるなどの異常行動あり。翌日、異常行動回復。 | 異常-218 | |
| 247 | B-07001670 | 女性 | 15歳 | 75 mg | アセトアミノフェン | 大発作痙攣 | 回復 | 39.2°Cの発熱を主訴に初診。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、風呂場に行き、浴槽で頭を打ちつける異常行動を発現。出血(少量)あり。失禁あり。意識清明まで5、6分。その後、強直発作10秒認める。発熱は一度37°C台に戻るが、再び38°C台に上昇。その後、就寝。深夜、トイレに行ったときに脱力し、意識消失。約1分後に回復したが、その後10分程度ボーっとした状態であった。その後、通常に戻り就寝。徐々に平熱となった。 | 異常-219 | |
| 248 | B-05021030 | 男性 | 16歳 | 75mg | 非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ アセトアミノフェン イブプロフェン | 激越 | 回復 | インフルエンザA診断後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日興奮状態で自宅を飛び出していき、しばらくして帰宅(本人は覚えている。)。その後解熱、興奮(異常行動)回復。 | 異常-220 | |
| 249 | B-06025041 | 男性 | 16歳 | 150mg | | 異常行動 傾眠 失見当識 | 軽快 軽快 軽快 | インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。投与開始3日後、平熱。異常行動(いきなり立ち上がり、ボーとしているなど)、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)発現。経過観察の為、入院。投与終了4日後、症状改善し、退院。退院4日後まで、見当識障害あり。翌日、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)軽快。 | 異常-221 | |

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|--------|---|------------|----|---|-----------------|----|
| 250 | B-06025191 | 男性 | 16歳 | 150 mg | | 譫妄 | 回復 | 過去に本剤内服あるが、その時副作用なし。 高熱(39℃)が出たため、姉に処方されていた本剤を服用し、受診。 その後、せん妄状態発現(約30分間持続)。 あばれだすようになったが、自室に入った。せん妄状態で発熱(39℃)が続いており、落ち着いた頃に本剤を追加服用。 庭に倒れていたところを家族が発見、中2階から転落した様子だが、本人記憶なし。せん妄状態回復。 翌日、来院、高熱(38.9℃)継続。 | 異常-222 | |
| 251 | B-06025425 | 男性 | 16歳 | 75mg | クラリスロマイシン 塩化リゾチーム 塩酸アンブロキシソール アセトアミノフェン | 意識変容 状態 | 回復 | 発熱(37.2℃)、頭痛、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感があり、確定診断後、夕方本剤を服用。 夜間帯、ボーっとした感じでベランダに出て行き失踪。 本人が素足のまま帰宅する。本人は、この間の記憶が全くない。 | 異常-223 | |
| 252 | B-07000240 | 男性 | 16歳 | 150 mg | バルプロ酸ナトリウム 酢酸デスマプレシン | 異常行動 | 回復 | インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。 | 異常-224 | |
| 253 | B-07003912 | 男性 | 16歳 | 150mg | 葛根湯 アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より、本剤服用開始。発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてしかたがない気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。 投与開始4日目、熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさが続いた。 投与開始5日目、朝、本剤服用後、服用終了。 投与中止7日後、しんどさは回復。 | 異常-225 | |
| 254 | B-07005448 | 男性 | 16歳 | 75 mg | アセトアミノフェン デオフィリン | 異常行動 | 回復 | 夕方、40℃の発熱あり。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より服用開始。 未明、急に起き上がり、靴も履かず寝間着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分位で帰宅。その後再び就寝。服用2日目、起床。39℃台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。 | 異常-226 | |
| 255 | B-04007197 | 男性 | 17歳 | 75mg | アセトアミノフェン | 幻覚 下肢骨折 | 不明 | インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mg及びアセトアミノフェンを処方。同日夕方、自宅2階より飛び降り両下肢骨折し、入院。主治医によると本剤を服用していない可能性もあるとのこと。 | 異常-227 | |
| 256 | B-04008399 | 男性 | 17歳 | 75mg | 塩酸アマンタジン アモキシシリン セラペブターゼ 塩酸アンブロキシソール 耐性乳酸菌製剤(3) ソファルコン | 異常行動 | 死亡 | 塩酸アマンタジン他を処方。翌日、インフルエンザA型と診断、塩酸アマンタジンを中止し、リン酸オセルタミビル75mgを処方(併用薬は継続)。昼食後内服し、約2時間後、突然素足で飛び出し、1m以上のコンクリート塀を飛び越え線路を横断し、ガードレールも越えトラックにはねられた。胸部外傷によるショック死。主治医によると、平成14年2月に本剤を5日間投与しているが異常なかったとのこと。 | 異常-228 死亡-16 | |

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|--------|--|--------------|-----------|--|--------|----|
| 257 | B-05021111 | 男性 | 17歳 | 150mg | アセトアミノフェン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸エブラジノン アズレンスルホン酸ナトリウム-L- グルタミン | 妄想(妄想) | 回復 | インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。その夜、家人を見て怖い怖いとベランダから逃げるような行動をとる。妄想発現。救急外来受診。翌日回復。 | 異常-229 | |
| 258 | B-07000087 | 男性 | 17歳 | 75 mg | 塩酸セチリジン | 異常行動 自殺企図 | 回復 回復 | インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわる。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。 | 異常-230 | |
| 259 | B-07004079 | 男性 | 17歳 | 150mg | アセトアミノフェン | 異常行動 | 回復 | インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夜、突然トイレに行き、その後ロックを外し外に出ようとする。ベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止め、事なきを得た。翌日、異常行動回復。 | 異常-231 | |
| 260 | B-05025437 | 男性 | 18歳 | 150mg | アセトアミノフェン 塩酸アンプロキシソール | 異常行動 | 回復 | A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1℃)。2回目服用2.5時間後に突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間記憶なし。翌日(36.7℃)外来受診し本剤中止、異常行動回復。 | 異常-232 | |
| 261 | B-06026848 | 女性 | 18歳 | 150mg | 麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム | 転倒 自傷行動 | 後遺症 回復 | 本年3月19日、インフルエンザBと診断。リン酸オセルタミビル5日分等処方される。 処方5日目(3月23日)朝、本剤75mg服用し、その後本剤の服用はしていない。 微熱は続いていたが、咳、痰はなかった。 3月25日朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが昼頃2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。 | 異常-233 | |
| 262 | B-07013137 | 男性 | 18歳 | 150 mg | | 異常行動 異常行動 | 不明 回復 | 以前、リン酸オセルタミビルを服用し、外に飛び出る異常行動発現。 A型インフルエンザ(体温39.2℃)に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、家から飛び出していた。本人は何故家から出たかの記憶がない。本剤服用中止。 | 異常-234 | |
| 263 | B-07013376 | 男性 | 18歳 | 150 mg | | 異常行動 | 回復 | 夕方、B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用2時間後、暴れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 服用2日目、夕方、本剤服用後も暴れるが、父親が確保。 服用3日目、朝、本剤服用時には症状は発現しなかった。夕方、本剤服用。本剤3日間服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動について本人の記憶はなかった。 | 異常-235 | |

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

| No | 識別番号 | 性 | 年齢 | 一日用量 | 併用薬 | 副作用 | 転帰 | 経過の概要 | 前回公表No | 備考 |
|-----|------------|----|-----|-------|---|---------------|----------|--|--------|----|
| 264 | B-05022154 | 男性 | 19歳 | 75mg | ジクロフェナクナトリウム 臭化水素酸デキストロトルファン 塩化リゾチーム アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン クラリスロマイシン バファリンA | 激越 落ち着きのなさ | 回復 | 高熱(40.2°C)のため、受診。 咽頭部の発赤、腫脹あり。本剤、ボルタレン他を処方。 帰宅後、本剤、ボルタレン他を服用し、38°Cに解熱。 その後、嘔吐し、睡眠する。本剤の服用は中止している。 突然覚醒し、興奮状態(大声を出し、興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、膝蹴りなどでテレビを割るほど殴る:3~4分間)となり、両手甲部に外裂傷。 3時間半後、体温39°Cになり、精神状態も落ち着く。 翌日、体温37°C、不穏状態、興奮状態は回復。 | 異常-236 | |
| 265 | B-06005344 | 女性 | 19歳 | 150mg | 酒石酸ソルピデム エチゾラム 非ピリン系感冒剤(4) | 自傷行動 健忘 | 回復 回復 | インフルエンザ(診断確定未実施)治療のためにリン酸オセルタミビル の服用を開始した。投与開始から5日目に自傷行為と記憶消失が発現し、 約5時間後に回復した。服用開始から6日目にインフルエンザが軽快して いる。 | 異常-237 | |
| 266 | B-07007066 | 男性 | 19歳 | 75mg | アセトアミノフェン 葛根湯 | 異常行動 | 軽快 | 前日昼頃、発熱、咳、鼻汁の症状あり。インフルエンザA型と診断され、リン 酸オセルタミビル、アセトアミノフェンを服用し帰宅。服用1時間後、うつ ろで状態がおかしかった。服用4時間後、大声で叫んだり、わめき錯乱し たような状態で、家族の制止聞かず自室からでていこうとするような異常 行動あり、救急車にて搬送。経過観察が必要と判断し即入院。 | 異常-238 | |
| 267 | B-05023219 | 男性 | 20歳 | 150mg | 不明 | 躁病 | 軽快 | 躁うつ病の家族歴あり。 発熱(39.4°C)、咳、鼻症状にて確定診断後本剤処方。夕刻39.7°C内服開 始。 翌朝36°C台となるが、夜寝ようとしてもソワソワして眠れなかった(躁状 態)。本剤の服用が終了しても、躁状態継続し、歩き回り、入院となる。 | 異常-239 | |
| 268 | B-06022861 | 男性 | 20歳 | 150mg | 塩酸プロカテロール | 異常行動 過換気 | 軽快 回復 | インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。当日、異常 行動、過換気発現。寝ようとしたら急に不安になって叫びだしたりした。 約5時間睡眠後、異常行動軽快、過換気回復。 | 異常-240 | |
| 269 | B-07013249 | 女性 | 20歳 | 75mg | アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシ ン 酪酸菌製剤 ポビドンヨード 塩酸エブラジノン | 譫妄 異常行動 | 回復 回復 | A型インフルエンザに対して、リン酸セルタミビル処方。服用後、数時間で うわごと、フラフラと無意識に歩行(この段階では高熱状態継続)。服用2 日目、母親、患者の判断により、本剤中止。熱はほぼ平熱に低下。異常 行動は回復。 | 異常-241 | |
| 270 | B-07003477 | 男性 | 23歳 | 75mg | 塩酸アンブロキシール 塩酸セファペンピボキシル レバミピド アセトアミノフェン 塩酸モサプラミン リスベリドン 塩酸ビペリデン クロルプロマジン・プロメタジン配合 剤(1) ニトラゼパム カルバマゼピン フルニトラゼパム | 異常行動 | 不明 | A型インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン、カルボシステイン、塩 酸セファペンピボキシル、レバミピド、アセトアミノフェン(頓用)処方。精神 病薬を服用している。塩酸アマンタジンからリン酸オセルタミビルに変 更、帰宅し本剤服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命 を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 なお、患者はもともと熱を出すとフラフラする体質で、異常行動を起こす 前にもめまい等起こしている。 (2004年の症例) | 異常-242 | |